

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2024年8月29日
【事業年度】	第123期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
【会社名】	昭和産業株式会社
【英訳名】	Showa Sangyo Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 塚越 英行
【本店の所在の場所】	東京都千代田区内神田2丁目2番1号
【電話番号】	03(3257)2036
【事務連絡者氏名】	財務経理部長 白井 潔
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区内神田2丁目2番1号
【電話番号】	03(3257)2036
【事務連絡者氏名】	財務経理部長 白井 潔
【縦覧に供する場所】	昭和産業株式会社大阪支店 （大阪市北区天満橋1丁目8番30号） 昭和産業株式会社名古屋支店 （名古屋市西区那古野1丁目36番6号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2024年6月25日に提出いたしました第123期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

2 サステナビリティに関する考え方及び取組

（気候変動への対応・TCFD提言への取り組み）

d. 指標及び目標

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

2【サステナビリティに関する考え方及び取組】

（気候変動への対応・TCFD提言への取り組み）

d. 指標及び目標

（訂正前）

<省略>

容器包装材プラスチック使用量削減（原単位）目標進捗状況

目標値	項目	基準年の対象範囲	基準年度	目標年度	-	2023年度迄の削減率	評価
容器包装材プラスチック使用量（原単位）25%以上削減	-	当社及び子会社1社（5）	2013年	2030年	-	基準年度比6.2%削減	食用油向けボトルの軽量化、業務用油脂製品のフィルム構成変更による薄肉化により減少しております。

<省略>

（訂正後）

<省略>

容器包装材プラスチック使用量削減（原単位）目標進捗状況

目標値	項目	基準年の対象範囲	基準年度	目標年度	-	2023年度迄の削減率	評価
容器包装材プラスチック使用量（原単位）25%以上削減	-	当社及び子会社1社（5）	2013年	2030年	-	基準年度比3.5%削減	食用油向けボトルの軽量化、業務用油脂製品のフィルム構成変更による薄肉化により減少しております。

<省略>